

別添4-6 (第3の2関係)

国際水準GAP普及推進交付金の事業成果及び評価報告書 (令和5年度)
(令和7年6月27日作成)

事業実施主体名：岐阜県

目的	令和5年度目標値及び令和6年度実績値等				令和6年度事業実績		備考
	R5目標値	R6実績値	R6達成度	R6評価	事業費実績 (円)	うち、交付金 相当額 (円)	
I 国際水準GAPに係る指導活動の推進	GAP指導農業者数 367 経営体 GAP指導員の育成数 18名	目標達成済み			0	0	「GAP指導農業者数」は、R5年度に目標達成済み
II 人材育成のための農業教育機関における認証の取得等支援	農業教育機関における新規のGAP認証取得または維持・更新数 2経営体 (機関)	目標達成済み			0	0	R5年度に目標達成済み
III 環境負荷低減に取り組む団体に対するGAP認証の取得等支援							
IV 国際水準GAPを実践する農業者向けGAP農産物の需要拡大セミナーの開催に係る取組							
V 国際水準GAPを実践する農業者による商談会への出展の支援に係る取組							
事業の成果 R5年度にGAP指導員の育成目標として掲げた18名に対し、実績が16名に止まったため、引き続きR6年度においても新たなGAP指導員の育成に取り組んだ。当該年度目標：15名に対し、実績は11名に止まり、さらなる上乗せはできなかった。							
事業実施主体による評価 年度当初に設定した研修の開催日程については、講師招請の都合等も有り変更不能であり、体調不良等に伴い受講予定者の一部に欠席が生じることはある意味不可避であると考えており、達成度が8割程度であれば概ね目標達成と考えるが、7年度以降における取組の中で育成数のさらなる上乗せを図ることとしている。							

国による評価

GAP 指導農業者数と農業機関における新規の GAP 認証取得または維持・更新数においては、令和 5 年度に目標を達成している。

GAP 指導員の育成数については、目標値 18 名に対し 16 名と目標を達成していないので、目標達成されるよう改善計画の提出を求める。

留意事項

1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。

(1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。

(2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。

(3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。

(4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。

A……………達成度 100%以上

B……………達成度 80%以上

C……………達成度 50%以上

D……………達成度 50%未満

(5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。

(6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。

(7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。

(8) 「都道府県による評価」の欄は、(1) から (7) までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。

また、目標値の達成度が極端に低い（概ね 5 割程度以下）の場合には、その理由を明確に記入する。

(9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。

2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

別添4-6 (第3の2関係)

国際水準GAP普及推進交付金の事業成果及び評価報告書 (令和5年度)
(令和7年6月30日作成)

事業実施主体名 愛知県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金 相当額 (円)	
I 国際 水準G APに 係る指 導活動 の推進	(GAP 指導農業 者数) 120	204	170%	A	0	0	
	(GAP 指導員の 育成数) 15	(7) 12	(47%) 80%	(D) B			
II 人材 育成のた めの農業 教育機関 における 認証の取 得等支援							
III 環境 負荷低 減に取り 組む団 体に対 するGAP 認証の 取得等 支援							
IV 国際 水準G APを 実践す る農業 者向け							

G A P 農産物 の需要 拡大セ ミナー の開催 に係る 取組							
V 国際 水準G A Pを 実践す る農業 者によ る商談 会への 出展の 支援に 係る取 組							

事業の成果

新たに19名の農業改良普及指導員等が国際水準GAPガイドライン研修、JGAP指導員基礎研修、団体認証研修を受講し、指導力が強化された。普及指導員のうちGAP指導員数は80名で、204の農業者に対し指導を行うことができた。

研修受講の上、3人の農業者に対する指導実績により7名がGAP指導員となった。

令和6年度に普及指導員が研修受講及び3人の農業者に対する指導実績により新たに5名がGAP指導員となった。

事業実施主体による評価

I GAP指導活動の推進

GAP指導農業者数は、目標値を上回る実績となったので、A評価とした。

要因として、以下の点が挙げられる。

- ・各GAP指導員が、農業者を対象とした各種研修会や個別巡回などの機会を捉え、農業者に対して効果的な指導ができた。

GAP指導員の育成数は、目標値に対して80%の達成度であったので、B評価とした。

要因として、以下の点が挙げられる。

- ・計画的な研修受講と農業者に対するGAP指導活動を実施することができたが、単年度で農業者に対する指導実績が3人に達しない者がいたため目標を達成できなかった。引き続き、各種研修会や個別巡回などの機会を捉え農業者に対して指導をしていく。

国による評価

GAP指導農業者数については、令和5年度に目標を達成している。

GAP指導員の育成数については、目標値15名に対し12名と目標を達成していないため、目標達成されるよう改善計画の提出を求める。

留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
 - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
 - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
 - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
 - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
 - A……達成度100%以上
 - B……達成度80%以上
 - C……達成度50%以上
 - D……達成度50%未満
 - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
 - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
 - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
 - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
 - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

別添4-6 (第3の2関係)

国際水準GAP普及推進交付金の事業成果及び評価報告書 (令和5年度)

(令和7年6月30日作成)

事業実施主体名 三重県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	R6実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金 相当額 (円)	
I 国際水準GAPに係る指導活動の推進	(GAP指導農業者数) 168	目標達成済み			0	0	
	(GAP指導員の育成数) 21	21	100%	A			
II 人材育成のための農業教育機関における認証の取得等支援	6	目標達成済み			0	0	
III 環境負荷低減に取り組む団体に対するGAP認証の取得等支援	1	目標達成済み			0	0	
IV 国際水準GAPを実践する農業者向けGAP							

農産物の需要拡大セミナーの開催に係る取組							
V 国際水準GAPを実践する農業者による商談会への出展の支援に係る取組							
<p>事業の成果</p> <p>令和5年度に引き続き、令和6年度もGAP指導員の育成に取り組んだ。その結果、令和5年度の16名に加え、令和6年度に24名のGAP指導員を育成・確保でき、GAP指導員数は242名となった。</p>							
<p>事業実施主体による評価</p> <p>GAP指導員の育成数については、3件以上の指導を円滑に行うため、令和6年度の研修開催時期を令和5年度より1か月程度前倒しするとともに、過年度に研修を受講し3件以上の指導が未達成となっていた対象者が指導を行った。その結果、令和6年度は目標16名に対して24名のGAP指導員を育成できた。</p> <p>令和6年度実績である24名のうち、5名を令和5年度実績に繰り入れた結果、令和5年度実績16名とあわせて令和5年度計画の目標21名を達成できた。また、令和6年度におけるGAP指導員の育成についても、24名から5名を差し引いて19名としても、目標16名を上回った。</p>							
<p>国による評価</p> <p>GAP指導農業者数、人材育成のための農業教育機関および環境負荷低減に取り組む団体の認証取得数は、令和5年度に目標を達成している。</p> <p>GAP指導員の育成数は、目標値21名を達成している。</p>							

留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
 - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
 - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
 - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。

- (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
- A……達成度100%以上
 - B……達成度80%以上
 - C……達成度50%以上
 - D……達成度50%未満
- (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
- (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
- (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
- (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。
- また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
- (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

別添4-6 (第3の2関係)

国際水準GAP普及推進交付金の事業成果及び評価報告書 (令和6年度)
(令和7年6月27日作成)

事業実施主体名: 岐 阜 県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち、交付金 相当額 (円)	
I 国際水準GAPに係る指導活動の推進	GAP指導 農業者数 889 経営体 GAP指導 員の育成数 15名	643 経営体 11名	72% 73%	C C	3,110,209	3,110,209	
II 人材育成のための農業教育機関における新規のGAP認証取得または維持・更新等支援	農業教育機関における新規のGAP認証取得または維持・更新数 1校	1校	100%	A	221,100	221,100	
III 大阪・関西万博に向けたGAP認証取得等支援							
IV 国際水準の都道府県GAPの体制構築支援							

事業の成果

GAP指導農業者数については、本事業における「国際水準GAPを実践する農業者」の定義を踏まえ、本年度途中に改めて対象農業者の精査を実施した結果、指導対象として捉えるべき者の絞り込みを行うことができた。

また、GAP指導員の育成目標として掲げた15名については、当日の体調不良等により、研修・試験等を欠席せざるを得ない者が生じたことから目標達成には至らなかった。

事業実施主体による評価

GAP指導農業者数については、従前よりリストアップしていた指導対象農業者等個々のGAPに係る取組意向等について改めて聴取・確認等を行うことで、指導対象として捉えるべき者の絞り込みを行い、指導の重点化を図る素地を整えることができた。

GAP指導員の育成数については、7割程度の達成度に止まったことから、引き続きさらなる上乘せに向け取り組む予定である。

国による評価

農業教育機関における新規のGAP認証取得または維持については目標値1校に対して1校と目標を達成している。

GAP指導農業者数については目標値889経営体に対し643経営体、GAP指導員の育成数については目標値15名に対し11名と、ともに目標未達成であるため、目標達成されるよう改善計画の提出を求める。

留意事項

1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。

(1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。

- (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
 - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
 - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
 - A……達成度90%以上
 - B……達成度80%以上
 - C……達成度50%以上
 - D……達成度50%未満
 - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
 - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
 - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
 - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。

また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
 - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する

別添4-6 (第3の2関係)

国際水準GAP普及推進交付金の事業成果及び評価報告書 (令和6年度)
(令和7年6月30日作成)

事業実施主体名 愛知県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金 相当額 (円)	
I 国際水準GAPに係る指導活動の推進	120	142	118%	A	857,112	857,112	GAP指導農業者数
	8	8	100%	A			GAP指導員の育成数
II 人材育成のための農業教育機関における認証の取得等支援	—						
III 大阪・関西万博に向けたGAP認証取得支援	—						
IV 国際水準の都道府県GAPの体制構築支援	—						
<p>事業の成果</p> <p>普及指導員のうちGAP指導員数は77名で、142の農業者に対し指導を行うことができた。研修受講の上、3人の農業者に対する指導実績により8名がGAP指導員となった。</p>							
<p>事業実施主体による評価</p> <p>I GAP指導活動の推進</p> <p>GAP指導農業者数は、目標値を上回る実績となったので、A評価とした。</p> <p>要因として、以下の点が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各GAP指導員が、農業者を対象とした各種研修会や個別巡回などの機会を捉え、農業者に対して効果的な指導ができた。 							

GAP指導員の育成数は、目標値に対して100%の達成度であったので、A評価とした。
要因として、以下の点が挙げられる。

- ・計画的な研修受講と農業者に対するGAP指導活動を実施することができた。

国による評価

GAP指導農業者数とGAP指導員の育成数の両方で目標を達成し、GAP指導農業者数については目標値以上の成果が見られる。

留意事項

- 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
 - 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
 - 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
 - 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
 - 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
 - A……達成度90%以上
 - B……達成度80%以上
 - C……達成度50%以上
 - D……達成度50%未満
 - 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
 - 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
 - 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
 - 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。

また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
 - 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。

別添4-6 (第3の2関係)

国際水準GAP普及推進交付金の事業成果及び評価報告書 (令和6年度)
(令和7年6月30日作成)

事業実施主体名 三重県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金 相当額 (円)	
I 国際水準GAPに係る指導活動の推進	(GAP指導農業者数) 168	137	82%	B	942,015	942,015	
	(GAP指導員の育成数) 16	19	119%	A			
II 人材育成のための農業教育機関における認証の取得等支援	6	6	100%	A	1,652,310	1,652,310	
III 大阪・関西万博に向けたGAP認証取得支援							
IV 国際水準GAPを実践する農業者による商談会への出展の支援に係る取組							
<p>事業の成果</p> <p>国際水準GAPの実践、国際水準GAPの新規認証や維持更新等に向けた指導を行うGAP指導員の育成に取り組んだ結果、242名のGAP指導員を育成・確保した。これらのGAP指導員等を含む地域GAP推進チームが中心となり、137件の農業者等に対して、国際水準GAPの実践及び認証取得・維持更新を支援した。</p>							

事業実施主体による評価

GAP指導農業者数は、GAP認証の維持を断念する農業者が多くあったため、目標を下回った。一方、農業教育機関においては計画どおりすべての機関でGAP認証を維持することができ、一定の事業成果があったものと考えられる。

GAP指導員の育成数については、3件以上の指導を円滑に行うため、研修の開催時期を昨年度より1か月程度前倒しするとともに、過年度に研修を受講し3件以上の指導が未達成となっていた対象者が指導を行った。その結果、令和6年度目標を超過達成でき、超過達成分を令和5年度実績に繰り入れたところ、令和6年度、5年度とも目標達成となった。

GAP認証は減少傾向にあるが、次年度以降は新規にGAP認証を目指す農業者の掘り起こしや、三重県国際水準GAP支援制度を活用した「GAPの実践」を促す必要がある。

国による評価

人材育成のための農業教育機関におけるGAP認証取得数とGAP指導員の育成数は目標を達成し、GAP指導員の育成数においては目標値を上回る成果がみられる。

GAP指導農業者数については、目標値の168名に対し137名と目標未達成のため、目標達成のための改善計画の提出を求める。

留意事項

- 1 項目別の記載方法は次に掲げるとおりとする。
 - (1) 「目標値」の欄は、目的別に設定した目標値を記入する。
 - (2) 「実績」の欄は、事業実施終了時点の実績値を記入する。
 - (3) 「達成度」の欄は、目標値に対する実績の比率を記入する。
 - (4) 「評価」の欄は、達成度に応じた次のアルファベットを記入する。
 - A……達成度100%以上
 - B……達成度80%以上
 - C……達成度50%以上
 - D……達成度50%未満
 - (5) 「事業費実績」の欄は、当該年度に実施した項目に要した経費を、事業内容ごとに記入する。
 - (6) 「交付金相当額」の欄には、目的ごとに交付金の実績額を記入する。
 - (7) 「事業の成果」の欄は、当該年度に実施した内容及びその結果得られた成果を記入する。
 - (8) 「都道府県による評価」の欄は、(1)から(7)までの内容を踏まえ、都道府県としての本交付金事業における評価を所見とともに記入する。
また、目標値の達成度が極端に低い(概ね5割程度以下)の場合には、その理由を明確に記入する。
 - (9) 「国による評価」の欄は、地方農政局が評価の概要を記入するものとし、都道府県は記入しない。
- 2 本様式内にすべての内容の記入が困難な場合には、別に資料を作成し添付して差し支えない。また、必要に応じ説明に必要な説明資料を添付する。